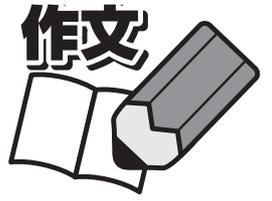


全国コンクール 優秀賞

群馬県コンクール 金賞



日本一周お米の旅

前橋市立東小学校 4年 小林 十和子

ある日、お姉ちゃんからお母さんのスマホに動画が送られてきました。芸人さんが青森県の方弁でコントをしている動画でした。お母さんは秋田県出身ですが、

「秋田のおばあちゃんもこんなこと言う言う。なつかしい。」

などつつぶやきながら大笑いしていました。

少したって、とつぜんお母さんがびっくりしたような声を出したので、どうしたのか聞いてみると、
「これ、お米のせんでんだって。」

と言って、また大笑いしていました。そのお米の名前は `青天の霹靂、で動画の最後には、「さっぱりとしたお米です。」というフレーズが流れてきました。名前も変わっているし、私にとってお米のイメージはもちもち、ツヤツヤ、ふっくらなどだったので、さっぱりとしたお米とはどういう感じなのか、とても気になりました。するとお母さんが、

「食べてみたいよね。コロナでどこにも行けないし、旅行に行ったつもりでいろんな県のお米食べてみる？」

と言いました。数日後、楽しみにしていたお米セットがとどきました。

お米セットの箱の中には、十七都道府県の二十種類のお米が入っていました。あきたこまちは私の家のいつものお米。ゆめぴりかとにこまるは聞いたことがありました。富富富、くまさんの輝きなど面白い名前のお米もありました。そして、青天の霹靂もバッチリ入っていました。いよいよ日本一周お米の旅の始まりです。

旅の始めは、やはり青天の霹靂です。すいはんジャーのフタを開けると、たきたてのお米のよいかおりが、湯気と一緒に辺りにただよいました。お母さんが、かつおぶしやのり、少しあまいみそ、うめぼしなどを用意してくれましたが、まずはお米だけで食べてみました。いつも食べているお米とは少しちがうような気がするけれど、どのように表げんしたらいいかなやんでいると、お姉ちゃんが、

「うん、さっぱりしていると思う。おかずがいっぱい食べられる。あとねばりかなあ。あるような気がする。」

とりポーターのように感想を言いました。さすがだなと思いました。

私は、お米を食べた時よりも、お茶わんによそう時にお米のちがいが分かりました。ピカピカしている、ふんわり軽い、つぶがはっきりしている、かおりが強いなどお米によっていろいろな特ちょうがありました。

この夏休みはたくさんたくさんお米を食べました。お米の名前から産地を当てたり、食リポしたりしました。`恋の予感、というお米の日には二人のお姉ちゃんが `出会いがあるかな。とさわいでいて、面白かったです。とても楽しいお米の旅でした。いつか全国のお米を食べつくしたいです。